

ベトナム交通運輸大と共同研究

舗装マネジメントシステムで

大成ロテック

大成ロテックは今年9日に、ベトナム・ハノイ市でベトナム交通運輸大

学と舗装マネジメントシステムに関する共同研究を締結したII写真。同社が海外の大学研究機関と共同研究を結ぶのは今回

が初めての試みとなる。期間は21年までの3年間。

共同研究では、同社が開発した乗り心地を測定する装置「STAMP R II」のベトナムでの適用性を確認しつつ、必要

に応じて改良を加え、舗装マネジメントシステムとして、舗装の補修・修繕工法についても共同で研究開発を進めていく予定。

共同研究契約の調印式冒頭で挨拶した西田



義則社長は、「伝統のあるベトナム交通運輸大

学との共同研究を通じて両国の技術・人的交流がさらに深まることでベトナムの更なる発展に貢献していきたい」と話した。

同社は、今年5月にベトナム交通運輸大と研究協力の覚書を交わし、舗装マネジメントシステムや最新の舗装技術に関するワークショップを開催している。今回の共同研究締結はこのワークショップが実を結んだ形となった。